

# 校長室からつぶやき・・・ 「ツイート」新聞



宇美町立宇美南中学校  
第47号  
文責 校長 熊本 寿美  
令和4年1月17日(月)

3学期生徒集会

第25代生徒会始動。スローガン「昇蘭<sup>しょうか</sup>」の思い発信。

## 第25代生徒会スローガン

しょうか  
**昇蘭**

- 【向学】「自分の意思を積極的に示し、互いに学び合う生徒」
- 【自立】「高い志をもち、南中八策の実現に自主的に取り組み、互いに磨き合う生徒」
- 【友愛】「周りのことを考えた言動を意識し、互いに認め合う生徒」



3学期始業式から第25代生徒会役員たちの南中の新たなリーダーとしての活動が始まりました。始業式に引き続き行われた生徒集会では、第25代生徒会スローガン「昇蘭」が発表され、スローガンに込めた熱い思いを、役員一人一人が堂々と述べ、目指す学校像を力強く発信しました。

「昇蘭」には、第24代生徒会が目指してきた「優しさあふれる素敵な学校」への思いを受け継ぎ、さらに高みを目指して全校生徒が笑顔で過ごせる学校にしようと思いが込められています。「昇」：今よりもっともっと上を目指してほしいという願い、「蘭」：1つ1つの小さな花、それぞれがもつ気品、美しさが合わさることで全体の優雅さにつながり、南中の生徒一人一人が中学生として美しく輝いてほしい、そして、周りへの愛情や思いやりをもって全校生徒が一つとなって素晴らしい学校を築いていこうという志が伝えられました。役員研修会での話し合いを重ね決定したスローガンへの思いを受け止めたフォロワーたちとともに、新たな第25代生徒会の活動に期待しています。

## 「目標を胸に」第25代生徒会 伊藤会長の決意表明に共感。

【生徒集会で述べられた生徒会長伊藤さんの発表です。一部抜粋編集しています。】

「自分自身に勝つことこそが、最も偉大な勝利である。」これは、私が中学1年生の頃に出会った、古代ギリシャの哲学者プラトンの言葉です。この言葉には、他人を気にし過ぎるのはやめて、自分の内面の成長を考えることが、人生で、実は有意義で価値あることであるという意味があります。この言葉と出会ってから、自分の中の価値観が大きく変わり、ネガティブな考えをすることが減ってきました。生徒会長になって、大きな壁にぶつかっても、「前の自分はどうだったのか」「自分には何ができるのか」「どんな成長ができたのか」を見つめ、自分がやりたいことをしっかりと伝え、意思表示をすることを大切にしていきたいです。堂々と自分の考えを伝えていけるようにしていきたいです。

1年後の退任式で、「自分は大きく成長できた」「過去の自分に勝てた」「目標を完璧に達成することができた」と胸を張って言えるように、試行錯誤しながら、この言葉を胸に秘めて、本気で、生徒会活動に取り組んでいきます。



1年後の自分を描いた、使命への覚悟と本気さが伝わる力強い宣言に心打たれました。



第25代生徒会初ボランティア活動となるあいさつ運動(1/12)には、寒い朝でしたが、45名の参加がありました。原田小学校には、各学級で作成されたのぼり旗が色とりどりに通学路に広がっていました。

「鍛えて・ほめて・励まして」 南中生のよさや頑張りが輝く学校づくり